

# タンクコンテナ国際輸送

## 東南アジア 中国、欧州 第4の柱に育成

### ジェイ・トラッド

ISOタンクコンテナの輸入販売などを手がけるジェイ・トラッド（東京都中央区、北野宣幸社長）は、新規事業としてISOタンクコンテナの国際輸送業務を開始した。東南アジア、中国、欧州に照準を定め、専用コンテナによるラウンド輸送を請け負いながら事業を拡大する。ISOタンクコンテナの輸入販売、コンサルティング、リース・レンタルに続く第4の柱にする。

ジェイ・トラッドは2016年7月の設立。ISOタンクコンテナの輸入販売から始め、コンサルティング、リース・レンタルの3つの事業を柱として展開してきた。固定客も順調に増え、市場から評価されており、18年3月期は売上高1億円

を超える見通し。昨年11月にスタッフを1人増やした。輸送業務も行って欲しいという顧客からの要望が多かったことから、専用コンテナによるラウンド輸送を目指し、先ごろ第2種外航貨物利用運送事業の許可を取得。国際

フレイトフォワードーズ協会（JIFFA）にも加盟し国際輸送の基盤を構築した。東南アジアと中国を中心にラウンド輸送を請け負い、今年度中に欧州へのエリア拡大を視野に入れている。例えば、液ができるだけ残らないよう

に内部を研摩したタンクコンテナなども今春から導入し東南アジアや中国で展開する予定。

ISOタンクコンテナは化学・石油・食品・飲料などさまざまな液体を運ぶことができる。また輸送だけでなく貯蔵など新たな用途も考えられる。「液体を入れるポータブルな容器として可能性は無限にある」（北野社長）とし新規市場を積極的に開拓、新造・中古合わせて5年内に年150本の販売実績の達成を目標に掲げる。

最近ではドライコンテナやリーファーコンテナ

の輸入販売も行っている。これに加えてIBC（中型容器）の輸入販売やリースも検討している。